

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回戸田市立郷土博物館協議会
開催日時	令和7年2月19日(水)午後2時から午後3時45分まで
開催場所	戸田市立郷土博物館 3階 講座室
委員長等氏名	戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤勝巳
出席者氏名 (委員)	佐藤勝巳(会長)、伊藤裕厚(副会長)、長谷川理、寿原淑郎、武内三枝子
欠席者氏名 (委員)	星野正義
事務局	高屋課長、名古屋主幹、本橋主幹、小倉主事
説明のため 出席した者	なし
議 事	(1)『郷土博物館40周年記念祭～みる！きく！あそぶ！～』について (2) 戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況について (3) 令和7年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画(案)について (4) 郷土博物館アートミュージアム設置の方向性について (5) その他
会議結果	生涯学習課郷土博物館担当から議題の内容について報告をし、報告事項に対して郷土博物館協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 『郷土博物館40周年記念祭～みる！きく！あそぶ！～』について</li> <li>・資料2-1 戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況の実施評価</li> <li>・資料2-2 戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況まとめ</li> <li>・資料2-3 戸田市郷土博物館ビジョンの進捗状況について</li> <li>・資料2-4 戸田市郷土博物館ビジョン</li> <li>・資料3-1 令和7年度郷土博物館事業計画(案)</li> <li>・資料3-2 令和7年度彩湖自然学習センター事業計画(案)</li> <li>・資料4 郷土博物館アートミュージアム設置の方向性について</li> <li>・当日配布 40周年記念祭記念品 昔の暮らし展リーフレット 昔の暮らし展解説小冊子</li> </ul>
議事録確定	令和7年3月5日 戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤 勝巳

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 事前配布資料（資料1～資料4）の確認。 星野委員から事前に欠席の連絡があった旨報告。  戸田市郷土博物館条例施行規則第16条第2項の規定における成立要件となる委員の過半数の出席を満たしていることを報告。
会長	2 会長あいさつ
事務局	次第3の議事に移る。議事の進行については、戸田市立郷土博物館条例施行規則第16条第1項の規定により、会長が務める。
会長	議事に入る前に傍聴人はいない旨報告。
	3 議事 (1)『郷土博物館40周年記念祭～みる！きく！あそぶ！～』について
会長	議事(1)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1に基づき、事務局から説明
会長	議事(1)について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
会長	記念品のデザインは学芸員が作ったのか。
事務局	当館の学芸員2名で協力して作製した。
委員	イベントに関しては予約制だったのか。
事務局	気軽にご参加いただけるように、講座によっては予約制のものと当日制のものに分けた。小さなお子さんが参加するような講座は、事前に予約ができ

	<p>た方が親御様も予定が立てやすいのではないかと内部で話が挙がった。そこで、予約ができる枠と当日申込ができる枠と分けたりするなどして、講座の内容によって変更をした。</p>
委員	<p>40周年記念祭で行った「発掘体験」では何が出てきたのか。</p>
事務局	<p>発掘体験では、館で保有している土器の欠片を使用した。職員通用口側の車庫にテン箱（大きなプラスチックのケース）とビニールプールを用意して砂を漏れないように入れた。その砂の中に、先ほど述べた土器の欠片を入れて、実際の発掘の時と同じように少しずつ砂をどかしながらどのように土器片を取り上げるかといった内容を体験してもらった。あとは、発掘に付随する一連の作業の流れを紹介し、発掘作業全体がある程度分かるように体験を実施した。</p>
副会長	<p>発掘体験は今まで講座で扱ったことはあるのか。</p>
事務局	<p>先ほど述べたような内容では初めてである。遺跡の発掘現場について、現地の説明会と併せて体験してみようといった内容は過去に実施したことがあるが、館内での疑似発掘体験は今回初めてである。</p>
会長	<p>他にご意見・ご質問等がなければ、議事（1）『郷土博物館40周年記念祭～みる！きく！あそぶ！～』については、以上とする。</p>
	<p>（2）戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況について</p>
会長	<p>議事（2）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事（2）について、資料2-1、2-2、2-3、2-4（主に2-3）に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>議事（2）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。</p>
委員	<p>資料2-1の3段階評価の分母の数字は、担当者数か。</p>

事務局	分母の数字は、資料 2 - 4 に載っているそれぞれの業務の取り組み数のことである。
委員	あいパルのパネル展の時にワークショップを行ったという説明があったが、どういう内容だったか。
事務局	ワークショップは「とぶ鳥をつくろう」という名前のものである。薄い発泡スチロール部分に絵を描き、更にクリップをつけてできたものを飛ばす、という内容だった。
委員	サイエンスサポートプログラムの中で、小学 1 年生が対象になった出張授業は今年からとなっているが、実施対象の範囲を広げた理由はあるのか。
事務局	4 月に行われた市内小中学校の理科部会の中で彩湖自然学習センターの紹介をさせていただく機会があった。その中で小学校から、虫捕りをしながら昆虫について学びたく、昆虫を採るなら彩湖自然学習センターが近くにあるから色々話を聞きながらにしたいと相談があった。そこで、その内容に関してはサイエンスサポートプログラムという形で応えさせていただいたところである。
委員	低学年だと他の学年と比べて大変ではないか。
事務局	事前に小学 1 年生の担任や理科の支援の先生と調整をさせていただいた。
会長	これは毎年行うものか。
事務局	他の学校より提案されたら、おそらくこの先もあるかと思う。小学校からはご好評いただいたところである。
副会長	それぞれの学校に出向いて、その学校の中や周辺でどのような生き物にあえるかといった活動がとても大切であると思う。近所でも色々な生き物が発見できるのだということをこのような形で紹介してもらおうと日常的にも興

事務局	<p>味・関心が広がると思う。また、理科部会で紹介とあるが伺いたい。</p> <p>理科部会はオンラインで行い、その中で、サイエンスサポートプログラムの宣伝をさせてもらった。教材提供や解剖ばさみ、ミジンコ入りの水等を紹介させてもらった。他にも小学校でイワシの解剖があったときに出張授業で行かせていただいたことがある。</p>
副会長	<p>教科ごとに〇〇部会といったものがあるので、郷土博物館も機会があれば検討してはどうか。</p>
会長	<p>先生たちの部会に博物館でもこういった内容を行っています、授業で使用できますなど、情報提供をしても良いかもしれない。</p>
委員	<p>南小学校の近くで発掘が行われているから、その情報も流してあげたほうが良いと思った。そうすることで、身近にそのような発掘があるということや、どういう時代の内容なのだろうと理解が深められると思うし良いと思った。</p>
会長	<p>他にご意見・ご質問等がなければ（２）戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況については、以上とする。</p> <p>（３）令和７年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画（案）について</p>
会長	<p>議事（３）について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料２－３（１６ページ目から）、資料３－１、資料３－２に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>議事（３）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。</p>
委員	<p>企画展戸田と戦争では、資料を集めるのが大変かと思うのだが、見込みはあるのか。</p>

事務局	<p>博物館開館以来、戦中の資料は継続して収集している。特にここ3、4年でも戦争体験者の方が高齢になっているため、身の回りの整理をされているからなのか、戦中資料の寄贈も近年でもあったりする。これまで収集してきた蓄積がある資料と近年新たに収集した資料を活用しながら展示の中で活かして紹介できればと思っている。</p>
会長	<p>特にどこかから借りてくるとかそういったことはないか。</p>
事務局	<p>今のところは予定していない。戸田から戦争に行かれた方たちが戦地でどのような生活をされてきたのか、戸田に残った人々の銃後の暮らしはどのようなものだったのか、戸田に関わりがある資料を展示する中でそれぞれの暮らしを浮かび上がらせていけたらと考えている。基本的には館収蔵資料で構成することを考えている。</p>
委員	<p>戸田は空襲はなかったのか。</p>
事務局	<p>全くなかったというわけではない。常設展示室でも一部空襲被害について展示をしている。</p>
会長	<p>他にご意見・ご質問等がなければ（3）令和7年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画（案）については、以上とする。</p> <p>（4）郷土博物館アートミュージアム設置の方向性について</p>
会長	<p>議事（4）について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料4に基づき、実際に対象の場所を周りながら事務局から説明</p>
会長	<p>議事（4）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。</p>
委員	<p>②の特別展示室であれば、もう少し範囲を狭くして既存のものを動かしてできるのかと思った。③のロビーであれば、奥のプラネタリウムはそのまま</p>

	にして展示できれば、使えるのではないかと思った。
委員	①の常設展示室いきなり持って行くのは厳しいかと思った。企画展時は全面的に特別展示室を使用して、それ以外の時は半分の範囲をアートミュージアムにするなど可動式が良いかと思った。
委員	常設という言葉を活かすとなると、どれくらいの量の美術品があるのか。
事務局	市所蔵の美術品となると、昭和50年代頃から平成の初期くらいにかけて収集した絵画が多い。点数としては、50点くらいのものになる。ただ、それが全て一同で展示できるかとなると難しい。2年ほど前に市所蔵絵画展を特別展示室で行ったが、その時でも展示の安全性や見やすさを考慮すると展示できる点数は20数点だった。文化会館の市民ギャラリーで常時展示も行っているため、全てを展示できるのではなく、ローテーションのような形で活かしていくのが今後の方向性になるのかと思う。
委員	予算はあまりかけられないのか。
事務局	常設的なものを設置するに当たって整備費としてどれくらいかかるかも含めて検討を行うというのが市長公約になっている。事務局としても今後金額を把握していこうと思う。
副会長	もしも、どうしても博物館内にアートミュージアムを設置するというのであれば、特別展示室前ロビーかと思う。
会長	アートミュージアムを作るなら、それなりの広さと設備を考えて作っていた方がよい。事務局から挙げられた3か所だと厳しさを感じる。どうしても設置するなら私も特別展示室前ロビーかと思う。アートミュージアムのコンセプトも考えたほうが良いと思う。
事務局	今回の候補①～③について、様々な観点からご意見ありがとうございます。 以前、市内で活動しているアート団体が来館した際に、このような立派な

	<p>特別展示室の部屋は市内の他にはないのではないか、博物館として特別展示室が利用されていないときは、アート作品を全面開放するなど、運営方法で工夫も出来るのではというご意見もいただいた。</p> <p>令和7年度も引き続き検討ということで、皆様の意見も参考に費用面もしっかり作成した上で、次回の本協議会で進捗状況を説明させていただけたらと考えている。</p> <p>他にご意見・ご質問等がなければ、議事（4）郷土博物館アートミュージアム設置の方向性については、以上とする。</p> <p>（5）その他について</p>
会長	<p>議事（5）について、事務局から説明をお願いします。</p>
会長	
事務局	<p>令和7年度の第1回目の協議会については、令和7年9月頃を予定している。また、3階特別展示室で開催中の「昔のくらし展」を自由に観覧いただきたい旨案内。</p>
会長	<p>本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局へお返しする。</p>
事務局	<p>4 閉会</p> <p>以上で令和6年度第2回戸田市立郷土博物館協議会を閉会とする。</p> <p>議事終了</p> <p>閉会 午後3時45分</p>